

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	第7回松阪市過疎地域の活性化を考える会
2. 開 催 日 時	令和元年 5月16日(木) 午後7時~午後9時25分
3. 開 催 場 所	飯南地域振興局 2階第1会議室
4. 出席者氏名	(委 員) ◎佐々木会長、○寺脇副会長、木下会員、久保会員、堀川会員、榊原会員、廣本会員 (事務局) 飯南地域振興局 地域振興課 堀川課長、森本主幹、飯高地域振興局 地域振興課 清川主査
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	2
7. 担 当	松阪市企画振興部 飯南地域振興局 地域振興課 森本 TFL 0598-32-2511 FAX 0598-32-3771 e-mail chishin.nan@city.matsusaka.mie.jp

協議事項

1. 説明(活性化の取り組みについて)
2. 意見交換(生活に関する身近な課題やお困りごとについて)
3. その他

議事録

別紙

第7回松阪市過疎地域の活性化を考える会報告書

- 開催日時 令和元年5月16日(木) 19:00～(21:25 終了)
- 開催場所 飯南地域振興局 2階第1会議室
- 出席者 佐々木会長、寺脇副会長、木下会員、久保会員、堀川会員
榊原会員、廣本会員
(事務局) 飯南地域振興局地域振興課 堀川課長、森本主幹
飯高地域振興局地域振興課 清川主査
- 傍聴者 2人

あいさつ・・・会長より

○会議前のチェックイン・・・各会員、事務局より

1. 説明

・資料に基づき説明(事務局より)

(内容)

- ・松阪市・東吉野村・宇陀市観光交流連携協定・・・4/19 締結
- ・地域おこし協力隊募集・・・現在募集中
- ・香肌峡フォトコンテスト・・・5/16～3/2 まで
- ・宮ノ谷遊歩道再整備・・・報道関係者とともにトレッキングを行った
- ・櫛田川カヌー体験・・・別紙日程で実施
- ・香肌峡ポータルサイト(パンフレット)
- ・サイクルチャレンジ in 香肌峡・・・3/24～12/1 まで開催。4/14 にキックオフイベント開催
- ・空家バンク・・・利用希望者は216人。紹介できる物件は25件
利用希望者に対して物件が不足している状況。
自治会にもお願いして物件を募集中。

会 長 (説明に関して)何か質問はありますか。
空家バンクについて、残り25の物件について、利用希望者があれば利用できるという状況なのか。

事務局 そのような状況である。地域の空家の数が多いが、登録が少ない。
紹介できる物件が不足している。

- 会 員
事務局 地域でのトラブルなどはあるか。
申し込み後に利用希望者の地域面談も行い、ある程度の人となり
はわかるが、すべてを知ることは難しいのが現状。地域になじめな
いこともあるようだ。
- 会 員 ・紹介できる 25 の物件については、インターネットなどでも公開
しているのか。
・古民家に住みたい、自給自足をしたいというニーズもある。畑な
どの紹介もしているのか。
・現在行っているお試し住宅の制度はいい制度だと思う。この地域
が気に入ったら住んでもらえるきっかけにもなる。
- 会 員 移住支援の中で、借りる人は賃貸を希望する。家主は売却したいと
いうことで、それぞれの希望がマッチングしていないところもあ
る。
- 会 員 サイクルチャレンジ in 香肌峡について、イベントをしていない時
のほうがサイクリストが多かったように思う。参加者の実績も少
ない。
- 副会長 しっかりとサイクリングを楽しみたい人にとっては、コース設定
（距離など）が物足りないところもあるようだ。
- 会 員 ・サイクルチャレンジ in 香肌峡については、実行委員会でも人が
少ないというイメージは持っている。参加者が増えるいいアイデ
アがあれば教えていただけるとありがたい。
・今年度、ホームページなどで地域おこし協力隊を募集しているが
応募が少ない。
ホームページや、民間の転職サイトにものせているがなかなか応
募につながっていない。
応募につながるいい情報が少しでもあればいただけるとありがた
い。
・現在、香肌峡フォトコンテストも募集している。
・飯南高校の活性化協議会が設立され、本格的に動き始めた。民間
企業のお力もいただきフィールドワークを行った。

事務局 サイクルチャレンジ in 香肌峡については、バイクが多く自転車が少ないという感覚は持っている。これまでの結果を踏まえて、次につなげていきたいと思っている。

会 員 空家バンク等について、若い方の考え方、移住したい方の思いを直接聞ける場があればいいと思う。

会 員 ・サイクルチャレンジ in 香肌峡について、長距離を求めたりするサイクリストは減っているかもしれないが、そうではない人は増えていると思う。ここを訪れた人たちが、ここで楽しみ、お金を使っていたかということにつながるアイデアも必要になってくる。
・フォトコンテストについて、募集した写真は、ホームページやパンフレットに使いたいので、著作権は松阪市に帰属するようにしていただきたい。
・ホームページの掲載内容などについては、協力できるところは協力していきたい。
・松阪香肌商工会制作のパンフレット（現時点ではホームページのみ）、松阪市制作のパンフレット（紙媒体）、のいずれも見したが、松阪香肌商工会はデータが多すぎるように思う一方、松阪市制作のパンフレットは情報が少なく少しさみしい。

会 員 飯南高校では、飯南ゼミでフィールドワークを行った。飯南・飯高管内以外の学生は、新鮮で興味深い視点を持っている。子どもたちの視点を参考にできるといいと思う。

2. 意見交換（3. その他の項目についても一緒に・・・ 項目→・地域活性化セミナーの研修内容及び講師について、・先進地視察研修について）

テーマ ～生活に関する身近な課題やお困りごとについて～
・過疎化の中で、住民や団体等が抱える課題とは
・移住者が、定住する時に直面する課題とは

会 長 それでは次に、3の意見交換に移らせていただく。
今後、交流人口を増やしていくためにどうしたらいいのか。今日は、ざっくばらんに意見出しをしていただければと思う。

会 員 ・議会報告会の時にも言ったが、民間バス会社の定期代がこれまで

より一割ほど上がった。何らかの支援ができないものかと思っ
ている。県内の他市町では支援制度があるように聞いている。

・生徒数の減少により、中学校の保護者会役員のなり手が少なく、
役員をさがすのも大変になってきている。

- 会 員
- ・飯南管内、畑井地区のがけ崩れ箇所について、大雨の時は通行止
めになるという看板があつて、通つても大丈夫なのかという不安
がある。いつになったら安心して通れるのか。
 - ・仁柿の国道 368 号の工事について、いつになったら完成して通
れるのか。
 - ・バス停までの距離が遠い住民に対して、松阪市の支援策などはあ
るのか。
 - ・高齢者の交通手段の確保が課題。買い物などへの不安があると聞
く。
 - ・地域活性化について、市民が普段から利用する『これ』といった
名所や食べ物などが見つからない。『いいもの』はあるのに、地元
では『あまり食べていない』のは、さみしいと思う。

- 会 員
- ・県内他市町では、80 歳を超える高齢の方はバスの利用チケット
をもらえる制度があると聞く。
(他地域の) 過疎地域に住む人からは、車がないと何もできないと
いう声もある。
医者・買い物の支援などがあると生活していくうえで安心にもつ
ながると思う。
 - ・仁柿地内の国道 368 号については、早い時期の開通が待たれて
いる。

- 会 員
- 現在民間バス会社の運行ルートは、コミュニティバスは運行でき
ないと聞いている。
広く、新しい道よりも、旧道のほうに民家が多いが、バスが走つて
いないので外出に利用できないという課題がある。
波瀬地区も、バスが走っていないので、家族の送迎が必要になって
いる。これらの課題の解決方法に苦慮している。

- 会 員
- 飯高地区のコミュニティバス『たかみ』は、波瀬地区から川俣出張
所までの間を 3 往復している。これは、民間バス会社の運行ルー

トとは別のルートを運行している。

今後、宮前から先は、収益上の理由によって民間バス会社が撤退することも考えられる。

民間バス会社の運行をうまく残して、デマンドバスを運行するなどの工夫も必要だと思う。

会 員 交通手段がないことには、住むこと、食べること（買い物）が難しくなってしまう。

会 長 田畑の管理について、耕作放棄地も多くなっている。太陽光発電への転換も多い。

会 員 太陽光パネルについて、現在は、設置のハードルが高くなっていて、農振地域は設置できなくなってる。

会 長 太陽光パネルの設置について、景観に関するガイドラインなどはないのか。

会 員 現時点ではない。

会 員 太陽光パネルの設置が、投資目的になっているように思う。イノシシなどの野生動物が感電するなどのトラブルはないのか。

事務局 これまでは聞かれない。

会 長 ほかに、『暮らしやすさ』などのテーマで意見はないか。
いま地域の電気屋さんや水道屋さんが少なくなっている。若者の雇用の場の問題も。若者は市街地へ行きたがる傾向がある。雇用への支援があれば若者は住みやすくなるのではないかと思う。

会 員 廃校となった学校の利用はどうなっているのか。また、これからどうしていくのか。建物の活用について、どのように考え方をしているのか。活用をしっかりと考えていくことで、建物も生きてくると思う。

会 員 ・奈良県の温泉に行った。（使われなくなった）学校を使った食堂

に行った。夕方5時過ぎだったが、地元の人でいっぱい憩いの場になっているようだった。

・三重県側は、道路付近の公衆トイレの数が少ない。奈良県側（吉野）は多い。

会 員 トイレの管理には、経費が掛かる。苦慮しているところ。

会 員 （官民間わず）利用できるトイレにWCマークを付けたら、行政から何らかのバックアップがあるなどの制度があるといいと思う。

会 員 商工会で、自発的にトイレの利用について手を挙げたが、周知できていない。

会 員 ・中心市街地の商店街でも同じ話が聞かれる。（行政からの）助成の前に事業所が自らトイレの利用について取り組んだ。おもてなしの気持ちで考えたらどうか。

・コミュニティバス『たかみ』の利用者が少ないことについて、どうしたらいいのか、あまりいい案が思いつかない。

・地域の有効な交通手段について自動運転の技術が進んだらこの地域の未来もあるかもしれない。

会 員 例えば、早朝と夜遅くにコミュニティバスを運行して、子どもたちと高齢者が一緒に利用できる仕組みはできないか。世代間交流もできると思う。

多気町の勢和地区では波多瀬地区から相可までは100円で利用できる。高校生の利用もあり、全体的に利用者が多いと聞く。

会 員 ・早朝・夜遅くのバスの運行は難しいかもしれない。

・移住に関して、東京から波瀬地区にみえた方（自営でコーヒー豆の焙煎をしている）がいて、買取の物件を探している。

全国の移住ランキングでは松阪市は移住のためのハードルが高いのか、ランキングは低いようだ。

会 員 移住前のイメージと移住後の現実が違うということもあるかもしれない。あらかじめ地域の施設情報などがわかればイメージがつかみやすく、移住促進につながりやすいのではないか。

- 会 員 移住支援の組織のようなものがあると行政としては支援がしやすい。
- 会 員 ・学校の問題もある。子どもが少ない香肌小学校では山村留学制度を始めた。若い人に来てもらうためには、香肌小学校はどうしても必要。
・地域振興のためのいろいろな組織はあるが、うまく連携できれば前進できるのでないかと思う。
- 会 員 地域活性化セミナーでは、飯南高校とのタイアップも考えられるのではないかと思っている。
- 会 員 自分たちは委員としてかかわっているので、地域が抱えているいろいろな課題について考えるが、普段の生活の中では考えることも少ないのではないか。
学校で一生懸命取り組んでいる人もいるのでタイアップしなければとも思う。
- 会 員 そのようなことについては、考えていきたい。
- 会 員 地域の人たちは、どのようなことを考えているのだろうかと思うことがある。
- 会 員 行政からすると、地域がどうしたいかという意思がわからないと、動きようがない。
- 会 員 将来的には、飯南地域も波瀬地区のようになるかもしれない。
- 会 員 去年の地域活性化セミナーは、移住をテーマにしていた。
飯南高校のことについては、去年の地域活性化セミナー講師の高野先生と一緒に、香肌小学校の存続とあわせて考えていきたい。何かいいアイデアがあればいただければと思う。
- 会 長 先進地視察はどうか。

会 員 観光に関する連携協定のある東吉野村はどうかと思っている。

会 員 東吉野村の『オフィスキャンプ』はどうか。地域には英語の看板も多くあって、ウェルカムの気持ちがあふれている。
先進地として、大紀町の話もあるが、松阪香肌商工会の事務局長が去年まで勤務していた。先進地視察の時は、事務局長を通じて依頼するといいのかもしれない。

会 員 ・今年の地域活性化関連の事業について、地域活性化セミナーを、3回程度を予定している。
・次の過疎地域の活性化を考える会の会議予定は、9月下旬から10月上旬を予定している。

副会長 時間は少ないと思うが、先を見ながら話を進めていければと思う。

(21時15分終了)